お知らせ

平成23年11月21日
東北電力株式会社

緊急安全対策等の報告書における誤りの有無の再調査結果について

当社は、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震以降、国から発出された指示文書に基づき、随時、報告を行っておりますが、これまで提出した報告書の一部に誤記等が認められたことから、9月15日、国へ補正等に関する報告を行いました。

確認された誤記等については、原子力発電所の安全性の評価に影響を及ぼすものではありません。

(平成23年9月15日お知らせ済み)

これに対して、同日、原子力安全・保安院より指示文書「緊急安全対策等の報告書における誤りの有無の調査等について(指示)」を受領したため、この指示文書に基づき、これまで提出した緊急安全対策等の報告書に関する調査を実施し、報告した内容以外に誤りがなかったことを確認するとともに、誤記等が発生した原因および再発防止対策をとりまとめ、9月28日、原子力安全・保安院へ報告しました。

(平成23年9月28日お知らせ済み)

その後、報告書の内容については、原子力安全・保安院による確認が実施されておりましたが、記載されている数値等について、出典元とすべき設計図書等まで照合が行われておらず、十分な調査が行われているとは認められない部分があるとして、10月26日、原子力安全・保安院より指示文書「緊急安全対策等の報告書における誤りの有無の再調査等について(指示)」を受領しました。

当社は、この指示文書に基づき、出典元として適切な設計図書等までの照合を行い、緊急安全対策等の報告書の誤りの有無について再調査を実施し、これまで報告した内容以外に誤りがないこと等を本日、原子力安全・保安院へ報告しました。

今後、本事象を踏まえて策定した対策を確実に実施し、再発防止に努めてまいります。

以上

(別紙)

緊急安全対策等の報告書における誤りの有無の再調査等の概要